

親子遊びVTR 評価用紙

名前：〇〇△△（2歳5ヶ月） 〇年×月△日記入

1：できていない 2：あまりできていない 3：ふつう 4：できている 5：よくできている

項目	指 導 内 容	観 察 ・ 結 果				
場面設定	遊びの内容：カレンダー・絵日記	使用玩具： カレンダー・絵日記・のり・クレヨンなど				
親の遊び方項目	①やりとりの継続・発展	1	2	3	4	5
	②子供の言語的・非言語的（身振り）表出への気づき	1	2	3	4	5
	③視線の共有（アイコンタクト）	1	2	3	4	5
	④親子での物の共有	1	2	3	4	5
	⑤活動の主導権の取り方	1	2	3	4	5
	⑥子供の発声や動きの促進	1	2	3	4	5
	⑦問題が生じた時の対応	1	2	3	4	5
親の話しかけ方項目	1.声の聴きやすさ					
	①抑揚	1	2	3	4	5
	②声の大きさ	1	2	3	4	5
	③速さ（自然さ）	1	2	3	4	5
	2.発話を聴かせる					
	④子供の発話の繰り返し	1	2	3	4	5
	⑤子供のことばの修正・拡大	1	2	3	4	5
	⑥特性の言語化	1	2	3	4	5
	⑦要求・行動・感情の言語化	1	2	3	4	5
	3.コミュニケーションの促進					
	⑧質問のやりとり	1	2	3	4	5
	⑨受容・賛同・共感	1	2	3	4	5
	⑩子供を褒める	1	2	3	4	5
	⑪子供の注意を引く	1	2	3	4	5
	4.新しい知識・語彙の促進					
	⑫子供への教示	1	2	3	4	5
	⑬さまざまな語彙の使用	1	2	3	4	5
子供の様子	①発声（声質や大きさ）	1	2	3	4	5
	②発話量	1	2	3	4	5
	③コミュニケーション	1	2	3	4	5
備考						

<200X.0.X 親子遊び：カレンダー>

1. 場面の設定について

なるべく整理整頓をしましょう

- ◆ 机の上に置くものをなるべく整頓する（不必要なものは置かず、必要なときに子どもからの要求を誘う形で提示していく）
- ◆ 1つの事が終わったら、片付けて次の活動にうつる。（もし、片付けることを抵抗した場合には次の活動で扱うものを持たせるなど）…上手にできている場面もありました。
- * まず、今回のビデオの中では音になる機械のような物は片付けておいた方がいいでしょう。
- * また、カレンダーと絵日記といろいろな物に扱っているのが難しいと思うのですが、絵日記・カレンダー・のり・クレヨンと色々な物が机の上にあふれているとOちゃんの場合は、興味が逸れやすくなるように思います。私が訓練中にいつも絵日記が終った時点で一度クレヨンを片付けさせてから再度カレンダーでクレヨンを出すのはそういう意味もあります。「次の活動にうつりますよ」という合図もありますし、子どもが切り替えをしやすくなると思います。

2. 子どもの表出への気付き・やりとりの継続 vs 主導権の取り方・子どもの興味を引く

子どもが好き勝手にしないようにしなくては！と意識をしすぎると子どもの興味がどこにあるのか、子どもが何を表出しようとしているのかを見落としがちになります。子どもの興味に沿いつつ、ある程度お母さんが主導権（つまりお母さんがしっかり意図的に言葉を聴かせられる環境）を握ることが理想です。主に2場面で子どもの興味や表出をうまく受容しつつお母さんが主導権を握れそうだった場면을上げておきます。

- ◆ 最初の方の場面で1枚カレンダーを破いた時点で、Oちゃんは次のページのカレンダーにも「アウ（まる）」と連発しながら、お日様を描くことを主張しています。お母さんがその表出にはあまり触れず、のりを出すことで貼るということが分かり、また主導権がお母さんに上手に移っていますが、例えばここで、「お日様描くの？でも、今日はモクモク曇りだよ」と「Oちゃんの言いたいことは分かってあげているよ」という様子が見られると会話を発展させやすく、子どもの満足度も高くなると思います。後で2枚まとめて絵日記に貼ってしまってもいいわけです。かんむりの後にまたカレンダーに興味があったのにはこの時からの流れがあったからということも考えられます。
- ◆ もう1つの場面は、絵日記途中のぬいぐるみの場面です。いつも私の訓練では絵日記が大体12～13分くらいで、カレンダーが5分くらいなので、Oちゃんがお母さんと絵日記&カレンダーを集中して扱えるのはおそらく、その半分の10分、長くて15分だと思います。私が毎日行う課題として出しているため、お母さんは「やらなくては！」というプレッシャーがあるかもしれませんが、Oちゃんの興味が逸れたら、あまりこだわらず、Oちゃんが興味を持ったものから話を広げてあげる方がお母さんの場合は楽しくやりとりができると思います。ぬいぐるみで遊び始めた時点で、ぬいぐるみでの遊びに変えてしまっても良かったかも。自分で作った物をお布団のようにして見立て遊びをしていたので、他のぬいぐるみも持ってきてみたり、ハンカチなどで枕を作ってみたり、ぬいぐるみの犬を使って身体部位名をやったり、♪あたまたかひざボン♪のお歌を歌ってみたり、ぬいぐるみを使う活動であれ

ば乗ってきたかなあと思いました。

＊絵日記を描きながら扱うのが難しければ、ある程度事前に描いて、仕上げ部分（ポイントとなる部分）と一緒に描くことも可能です。お母さんがやりやすい方法を考えてくださいね。

3. 言葉かけについて

言葉かけのタイミングを少し考えてみましょう！

言葉かけの語彙&ジェスチャーの使用を少し考えましょう！

- ◆ お母さんは比較的、よい言葉かけをしているし、どこで求めるべきかはしっかり分かっているのですが、ちょっとタイミングがずれることがあります。特に「とって」「切って」などの要求言葉はやってあげる前にアイコンタクトを取りながら「切ってー、なの？、切ってー」「とってー」としっかり声かけをして欲しいですね。また、これはお父さんにクレヨンを渡した場面ではありますが、〇ちゃんが「アウ」とちょっと適当に声を出してクレヨンを渡していたのですが、「ありがとう」と受け取ってしまいます（ビデオ係をしているので大変だとは思いますが）曖昧な発話のときは「なーに？」と一度聞き返し「パパ、どうぞー、なの？」と〇ちゃんが言うべき言葉をしっかり聴かせてあげてください。ここではママが渡し終わったあとに「どうぞ」と言ってあげていますが、あのタイミングでは少し遅いかな、と思います。クレヨンが落ちてとって上げてから「とって」を聴かせるのも少し遅かったかな。
- ◆ おそらく聴けば分かるであろう物に関するジェスチャーは省いていてもいいと思います。例えば「まぶしー」とか車の「ブブー」の部分とか。
- ◆ 物を見せる前に聴かせてみましょう。どうしても興味を引くために、物を先に見せてしまうことが多くなるとは思うのですが、〇ちゃんが要求している物などは出す前に一度しっかり聴かせてから目の前に出したいですね。ぬいぐるみのタグを切って欲しい時も「切る？切ってなの？チョコチョコキ、はさみどこかな？」「あっ、あったよ、はさみ」（落ち着いていればここで「はさみ」らしくリピートが出るかも！）ワンワンもぬいぐるみを見せる前に聴かせられましたね。
- ◆ 動詞を上手に使って、質問する形を取って欲しいと思います。例えばもう「ビリビリ」は聴いて分かるし、自発でも表出しています。お日様を描く前に「描く？」とか破る前に「破る？」とか動詞で質問を投げかけて欲しいと思います。もちろん破けたあとは「やぶけたねー」と過去形で聴かせてあげてください。日本語はありがたいことにこのような形で動詞を聞かせていくことができます。最初は「描く↑？」と語尾が上がるイントネーションなどでニュアンスが伝わっていくと思います。クレヨンでも「何色？」と聞いてから「赤？白？」と今は2択くらいで聴かせた方が色名も印象に残るでしょう。